

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス塩田		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日		2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	こどもたちが過ごす場所としてプレイルームとアスレチックルームを設けており、広々と活動ができる空間を作っております。 活動内容やお子さんのニーズに合わせて部屋を分けて活動を行なっています。	活動ができるスペースが大きくて広いことが強みではありますが、ワンフロアのため、クールダウンできる個室のようなスペースはパーティションを使用して作っている状況です。さらに落ち着けるようなセンソリールームが設けられるよう検討していきます。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられている。	職員で支援前と終了後に申し送りを行い、保護者様からお聞きしたご家庭の様子なども共有しています。また、その中でお子さんの課題を洗い出し、良い行動が増やせるような支援としてトークンエコノミー法を積極的に取り入れています。 また、場面に応じて、個々に合わせた視覚支援ツールを作成し、伝え方を工夫するように心がけています。	職員の支援の方向性を統一するために申し送りや研修などで、毎回振り返りを継続的に行うように意識していきます。 必要に応じて支援方法を更新していくことで、さらに職員のスキルを向上できるように努めてまいります。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	季節に応じた行事や親子イベントを積極的に行なっています。お子さんのニーズや要望に合わせて活動を決めています。平日は運動療育が主ですが、季節ごとに運動療育の内容を工夫して行うこともあります。	様々な活動を行なっているのが強みではありますが、お子さんたちにとってはスケジュールがイレギュラーなものになるため、説明を工夫する必要があります。 個々に応じた視覚的なスケジュールを用いたり、必要に応じてスケジュールの確認を全体で行うよう工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	定期的には地域のこどもたちと交流する機会は設けていないのが現状です。ただ、公共の施設や公園等に積極的に出かけ、そこで出会ったこどもたちと交流する機会はあります。	地域の児童クラブや地域のこどもたちとの交流の場が設けられるか今後検討していきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	家族も参加できるようなペアレントトレーニングや研修会は現状、事業所では定期的には行えておりません。地域の参加できる研修会があれば周知を行なっています。 また、親子イベントを開催して運動療育について知ってもらう機会を作っております。	事業所主催の保護者様向けの研修会やペアレントトレーニングの機会を設けられるか今後検討していきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	年に2回ほど親子イベントを設けています。ご家族の方も参加できるようにしており、保護者様同士やきょうだい同士の交流ができる場としています。ただ、参加が難しいご家庭がいることや交流する時間が十分に持てない現状があります。	親子イベントでは、保護者が交流できるような時間、きょうだい同士が関わることができる時間を設けられるように工夫してまいります。